

# 日根野中だより

令和6年3月22日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

## 「春」は変化のとき…

春は大きな変化をするとき…

先を予測して変わる人…時代の変化と共に変わる人…

大いなる飛躍を決意し、変化する人…

いかなる状況でも、自分を「変化」させることが大事…

ここ数年…大変な時期を過ごした「今」であっても、  
変化し続ける…そんな自分でありたいですね…

## 無駄な過去は絶対はないと信じています…

最初から無駄だと思ってやっている人はいないと思います…  
逆に後から思うと、無駄だったと感ずることがあるかもしれま

せん…。でもその時点では、何かに必死になって取り組んでいたはず…。生きる中で、それが一番大切な事なのです…。失敗のない人生はありません…。たとえ、失敗した感覚なしで目標にたどり着いたと思ったとしても、おそらくそれは本物の目標達成ではありません…。本当の完成品だとは言えないはずです…。失敗を活かし、深めることが出来て初めて、本物への道があり、完成へと近づくことが出来るのだと思います…。

「失敗」…言い換えれば遠回り…。その遠回りすることが大事…。遠回りすることが一番の目標への近道…そう信じてがんばってほしい…そう思います。

今日で3学期も終わり…。来月からは新年度となり新しい学年へと進級します。  
この春休みの時間を活かし、今できていることをさらに伸ばすように…また、今までできなかったことを、少しでもできるように…そんな努力していきましょう。

思うような結果につながらないことも多いかもしれませんが…。でも、どんな状況に自分が置かれたとしても、目の前の事に全力で取り組む…これが一番の近道になっている…そう信じてがんばってください。これからのみなさんに期待しています。

負けるな自分に!!  
人生は自分との闘いだ!!  
人生は厳しいぞ!!  
ダメだ…と思うのも自分  
やるぞ…と思うのも自分  
さあ!!がんばれ!!

## 人は人とめぐり(間)合って人間になる…

…大切なのは「思いやりの心」…

中学生のみんなにとって…心も体も成長し続ける中学校三年間の中で、自分以外の人…その存在の大きさ、有り難さを理解することがとても大切だと思います…。人間は社会的動物と言われるように、一人では絶対に生きていけません。だから、モラル、道徳があり、社会のルールが存在する…人に対する思いやりの心を持つことが「人間としての基本」…そう言われているのだと思います。みんなは成長するにしたがって、家族・友達・その他大勢の人から刺激を受け、社会の中で自分がどのように行動すればいいのか…何が正しいのかを学んでいきます。このような経験を重ね、判断力が養われ、自分が為すべきことを知り、責任感も育まれていくのです。その時、基本となるのが「思いやりの心」…。自分勝手なふるまいをしてはいけないことを理解することによって、人間は本当の意味での自立の第一歩を踏み出すことができます。「思いやり」とは、他人の身になって考える…その中で身につけることができます。自分の他に多くの人々がこの社会を生きています。どんなに世の中が変わっても、相手に対する思いやりや、人と人とのコミュニケーションの大切さは変わりません。その様なことを社会の縮図である「学校(中学校)」で学び、「感謝・優しさ」を行動に移すことができる…そんな人間に成長してほしいと願っています。

みんなはこのコロナ禍、いろんな行動制限のある中、正に我慢・我慢の連続の日々をよく耐え忍びました。今、何ができるのかを考え、目の前の事に精一杯取り組んできましたね。よくがんばりました…。これからも生きづらい状況は続くと思いますが、まずは身体の健康…心の健康が一番大事…。これからもがんばっていきましょう!

## この一年間…ご苦労様でした!

いよいよ今年度も終わり…4月からは新入生が入ってきます。2年生は最高学年に…1年生は先輩に…。焦る気持ちもあるかもしれませんが、この一年積み重ねてきた実績は確かにあります。姿かたちや言葉・態度等…見ただけで先輩になろうとするのではなく、その動きの素早さ、力強さ、働き等で「さすが先輩!」と思ってもらえる意識を持ちたいものです。この一年間を見る限り、みなさんなら大丈夫!素晴らしい先輩になれます。自信をもって、この春休みもクラブ等に力を入れ、新年度、新しい学年をスタートしてください。がんばれ!

人間にとって大事なのは  
出逢い…  
どんな人に出逢い…  
素直な心で…  
何を学ぶことができるのか…  
それを掴むことができるかどうか…自分  
大先輩!